

① 歴史的分野 近世の日本【安土桃山】	年 組 番
	名前

次のA～Dは、鈴木さんが16世紀後半に活躍したある人物に関する資料まとめ、カードにしたものである。カード中の には、その人物名が共通して当てはまる。これに関する各問いに答えなさい。

カード **A**
 は、駿河の今川義元するが いまがわよしもと おけはぎまを桶狭間の戦いで破った後、京都に入り、足利義昭あしかがよしあきを（）にして勢力を強めた。

カード **B**
 は、比叡山ひえいざんを厳しく攻め、延暦寺えんりやくじの本堂をはじめとして、多くの建物を一軒も残すところなく焼き払った。

カード **C**
 は、安土あづちに壮大な城を築き、座がもっていた特権を取り上げ、市場の税を免除した。さらに、各地の関所を廃止した。

カード **D**
 ① 豊臣秀吉とよとみ ひでよしは、かつての主君だった が滅ぼした石山本願寺跡いしやまほんがんにじに、天守をもつ大阪城おおさかじょうを築いた。

(1) カード中の に共通して当てはまる人物名を書きなさい。

人 物 名	<input style="width: 100%;" type="text"/>
-------------	---

(2) カード **A** の（）に当てはまる内容を、次の語群から適切な語句を一つ使って、簡潔に書きなさい。

語群 【江戸 室町 鎌倉 平安】

(3) カード **B** を参考にして、 の人物がキリスト教を保護した理由の一つを簡潔に書きなさい。

(4) カード **C** の政策が行われた目的を説明した文として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 下剋上を防ぎ、家臣たちを取り締まろうとした。
 イ 商人の権利を保障し、自由な営業を認め、商工業の発展をうながした。
 ウ 耕地の権利を保障する代わりに、石高に応じた年貢を納める責任を負わせようとした。
 エ 土地を仲立ちとして、御恩と奉公と呼ばれる主従関係を結ぼうとした。

記号	
----	--

(5) カード **D** の下線部①の人物に関連する (i)・(ii) の問いに答えなさい。

(i) 16世紀の日本では、兵農分離と呼ばれる社会の変化が見られるようになった。兵農分離の内容を明らかにし、**兵農分離の意義**を簡潔に書きなさい。

--	--

(ii) この人物が行った政策の資料を、次のア～エから一つ選び、記号で書きなさい。

ア

諸国の守護の職務は、大番を御家人に催促すること、謀反や殺害などの犯罪人を取り締まることで、それ以外はしてはならない。

イ

けんかをした者は、どのような理由があろうと処罰する。君主から御恩として与えられた土地は、理由もなく売ることを禁止する。

ウ

諸国の百姓が、刀、わきざし、弓、やり、鉄砲、その他の武器を持つことを固く禁止する。

エ

城を修理するときは、必ず幕府に届けること。新たに城を築くことは固く禁止する。

記号	
----	--

① 歴史的分野 近世の日本【安土桃山】

年 組 番

名前

次のA～Dは、鈴木さんが16世紀後半に活躍したある人物に関する資料まとめ、カードにしたものである。カード中の には、その人物名が共通して当てはまる。これに関する各問いに答えなさい。

カード **A**

は、駿河の今川義元するが いまがわよしもと おけはぎまを桶狭間の戦いで破った後、京都に入り、足利義昭あしかがよしあきを（）にして勢力を強めた。

カード **B**

は、比叡山ひえいざんを厳しく攻め、延暦寺えんりやくじの本堂をはじめとして、多くの建物を一軒も残すところなく焼き払った。

カード **C**

は、安土あづちに壮大な城を築き、座がもっていた特権を取り上げ、市場の税を免除した。さらに、各地の関所を廃止した。

カード **D**

① 豊臣秀吉とよとみひでよしは、かつての主君だった が滅ぼした石山本願寺跡いしやまほんがんじに、天守をもつ大阪城おおさかじょうを築いた。

(1) カード中の に共通して当てはまる人物名を書きなさい。

人 物 名	織田 信長
-------------	--------------

(2) カード **A** の（）に当てはまる内容を、次の語群から適切な語句を一つ使って、簡潔に書きなさい。

語群 【江戸 室町 鎌倉 平安】

例) 室町幕府の （第15代）将軍

※下線部が征夷大將軍でも可

(3) カード **B** を参考にして、 の人物がキリスト教を保護した理由の一つを簡潔に書きなさい。

例) 仏教勢力に対抗するため。(仏教勢力をおさえるため。)

(4) カード **C** の政策が行われた目的を説明した文として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 下剋上を防ぎ、家臣たちを取り締まろうとした。
- イ 商人の権利を保障し、自由な営業を認め、商工業の発展をうながした。
- ウ 耕地の権利を保障する代わりに、石高に応じた年貢を納める責任を負わせようとした。
- エ 土地を仲立ちとして、御恩と奉公と呼ばれる主従関係を結ぼうとした。

記号	イ
----	---

(5) カード **D** の下線部①の人物に関連する (i)・(ii) の問いに答えなさい。

(i) 16世紀の日本では、兵農分離と呼ばれる社会の変化が見られるようになった。兵農分離の内容を明らかにし、**兵農分離の意義**を簡潔に書きなさい。

武士と百姓（農民）の身分を区別する兵農分離によって、
その後の身分制度の土台をつくった。

(ii) この人物が行った政策の資料を、次のア～エから一つ選び、記号で書きなさい。

ア

諸国の守護の職務は、大番を御家人に催促すること、謀反や殺害などの犯罪人を取り締まることで、それ以外はしてはならない。

イ

けんかをした者は、どのような理由があろうと処罰する。君主から御恩として与えられた土地は、理由もなく売ることを禁止する。

ウ

諸国の百姓が、刀、わきざし、弓、やり、鉄砲、その他の武器を持つことを固く禁止する。

エ

城を修理するときは、必ず幕府に届けること。新たに城を築くことは固く禁止する。

記号	ウ
----	---

Check! 【用語を自分の言葉で説明してみよう】

用語を覚えるのではなく、自分の言葉で用語の説明をしたり、その用語を使って別の用語の説明をしたりする習慣をつけておきましょう。